

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

コロナ禍を生き抜いた今、全てのステークホルダーにとって「WIN-WIN HOTEL」たらんことを目指す

ホテルオークラ京都改
40億円

② 中長期の経営戦略

1. 収益力強化、協働力強化

商品・サービスの付加価値向上、販売価格の適正化、顧客関係強化、会員利用促進、多様な顧客取り込み、ステークホルダーとのWIN-WIN関係構築

3. 人材確保・定着

多様な人材の確保、エンゲージメントの醸成、人材教育に取り組む

2. 施設競争力の維持強化

ホテルオークラ京都の客室全般改装。期間2026年から2029年、投資額約40億円

4. 財務基盤強化

内部留保による純資産改善、適正な資本配分、投資と借入のコントロール

③ 対処すべき課題

① 経営環境への対応

- ・エネルギー・原材料価格の高止まり継続への対応
- ・物価上昇による個人消費冷え込みへの懸念
- ・米国の政策動向による下押しリスク対策

② 2026年3月期の最重要課題

- ・財務基盤強化の推進
- ・人材確保・定着の実現
- ・施設競争力の維持強化

③ 機会への活用

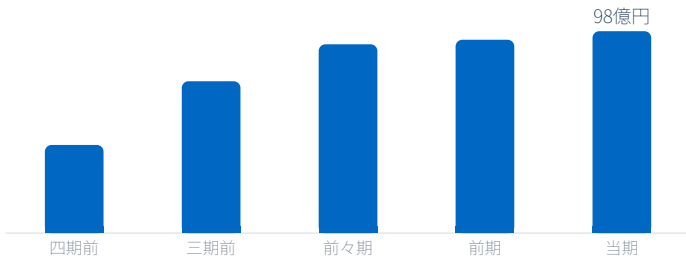
- ・訪日外国人旅行者数過去最高の活況を受けた需要対応
- ・大阪・関西万博（2025年4月開幕）による経済波及効果の活用

面接で使えるポイント

- ・京都で1888年創業、2028年に創業140周年を迎える歴史あるホテル企業
- ・コロナ禍を乗り越え『第二創業』の決意で、全ステークホルダーのWIN-WIN HOTEL実現を目指す
- ・訪日外国人旅行者が過去最高、大阪・関西万博による経済波及効果など、インバウンド需要の好機に対応

証券コード 9723

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
42点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 30.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
485万円

サービス業内 424位/524社

平均年齢
39.9歳

サービス業内 210位/527社

平均勤続
13.6年

サービス業内 60位/527社

女性管理職
14.7%

サービス業内 230位/371社

男性育休
50.0%

サービス業内 246位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 京都ホテル[9723]: 「第3次中期経営計画」の一部見直しに

